

ワットフレックス Watt-Flex® スプリットシース カートリッジヒーター

(米国 **Dalton** 社の国内正規販売代理店)

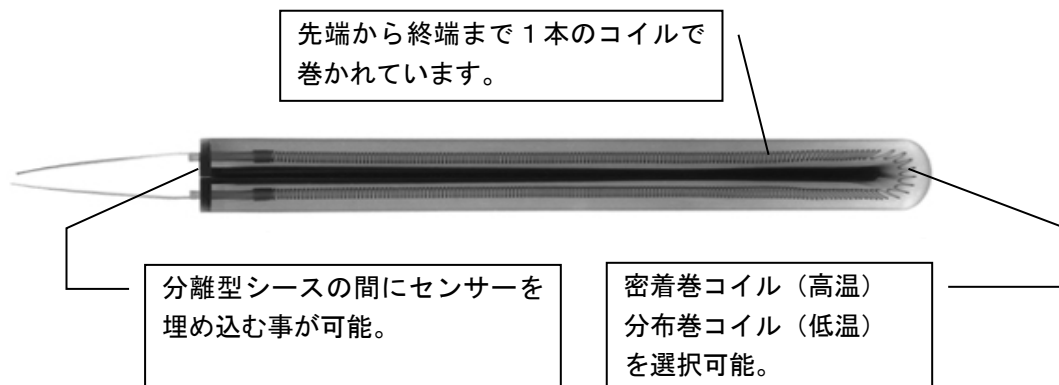
特徴

- 一般的なカートリッジヒーターとは、製作方法が根本的に異なるスプリットシースタイプのハイワットカートリッジヒーターです。
- スプリットタイプ構造とは、シース部が2本足のように分離された独創的な構造となっています。
- ヒーター先端部に非発熱部が存在しない為、特定部を加熱するのに有効です。
- 熱膨張により2本のシース部がそれぞれ外側に拡がり、金型の挿入穴に密着する事が出来る為、低い温度設定で高温加熱が可能となります。その為、通常のカートリッジヒーターより2~5倍の寿命があります。
- 2本のシース部がそれぞれ独立して熱膨張する為、反りが発生せず、着脱が容易になります。
- 工業用電圧(200V~240V)及び家庭用電圧(20V~120V)での製作も可能です。
- 2本のシース部の隙間に、外付けでシースセンサーを組み込む事も可能ですので、センサーが断線した場合、センサーのみの交換が可能となります。

製品



DALTON ハイワット スプリットシース カートリッジヒーター



内部構造



日本金型産業株式会社

東京都大田区西蒲田5-27-1
TEL:03(3733)6311 FAX:03(3736)5300
URL: <http://www.jtdtky.co.jp>
E-mail: jtd@jtdtky.co.jp

ヒーター関連-411-a-201312

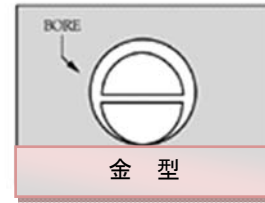
金型挿入口に対する高い熱伝導率の構造



従来の棒ヒーター



DALTON ワットフレックス

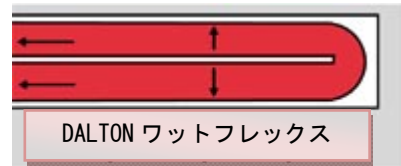


電源 OFF 時ワットフレックス

- ワットフレックスが発熱すると、熱膨張して金型穴の内側に密着する為、空炊する事なく、熱伝導率が高くなります。
- 穴加工に神経質になる事なく、プラス公差でクリアランスを大きく加工しても問題ありません。



従来の棒ヒーター



DALTON ワットフレックス

- ワットフレックスは温度差による反りが発生しませんので、電源 OFF で常温になると原形に戻り簡単に抜き取りが可能となります。
- ワットフレックスを使用する事により昇温を効率化する事が出来る為、低い温度設定で高い昇温（1200℃まで）が可能となります。その結果、サイクルアップとメンテナンスコストの削減が可能となります。

DALTON ワットフレックス標準寸法

インチサイズ：リード線 / 12" (300mm)

外径 インチ (ミリ換算)	製作実径*1	非発熱部長	シース長 (最小-最大) *2
1/4"(6.35)	6.22mm	8.0mm	32-558mm
3/8"(9.52)	9.40mm	9.5mm	38-915mm
1/2"(12.7)	12.57mm	15.9mm	50-1140mm
5/8"(15.9)	15.75mm	15.9mm	65-1525mm
3/4"(19.1)	18.92mm	15.9mm	89-1820mm
1"(25.4)	25.21mm	25.4mm	254-1525mm

ミリサイズ：リード線 / 12" (300mm)

外径	製作実径*1	非発熱部長	シース長 (最小-最大) *2
8.0mm	7.875mm	8.000mm	38-660mm
10.0mm	9.875mm	9.500mm	38-915mm
12.0mm	11.875mm	15.875mm	50-1140mm
12.5mm	12.375mm	15.875mm	50-1140mm
15.0mm	14.875mm	15.875mm	65-1250mm
16.0mm	15.875mm	15.875mm	65-1525mm
20.0mm	19.875mm	15.875mm	100-1525mm

*1: 製作公差 ±0.05mm

*2: 製作公差 ±3%(最小 2.4mm), 2%(500mm)

※ 使用温度 400℃を超える場合は、リード線に高温対応のスリーブを使用します。